

1. Tokiman Bomaの緊急井戸改修（南スーダン）

- 実施団体： COMMUNITY EMPOWERMENT FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT（#128）
- 実施地： 南スーダン中央エクアトリア州ジュバ郡ラジャフ・パヤム、トキマン・ボマ
- プロジェクト予算： 1,990ドル
(JWFファンド1,500ドル、団体340ドル、受益者150ドル)
- 受益者数： 450人（男90人、女135人、子ども225人）
- 実施地の水問題：
首都ジュバ郊外のトキマン・ボマ（南スーダンの最小行政区、数個の村で成立）では貴重な手押しポンプ3基のうち2基が破損して人道的に深刻な水危機が発生している。残された井戸では長時間にわたる行列が常態化して、代替水源がないため各家庭は手掘りの浅い露出水源から水を汲まざるを得ない状況にある。露出水源は汚染物の流入などで、公衆衛生上のリスクとなっている。



井戸の破損により、ボマ全体が水の危機となった



1基だけ稼働する井戸には数多くの容器を並べて順番待ち



やむを得ず汚染された水源から水を汲む住民

- 主な活動内容： 手押しポンプ2カ所の全面改修、井戸内面・水受け・ポンプ修理、水質試験。住民衛生啓発集会2回、学校衛生集会、水利用者委員会の設置と技能研修。
- 特長（持続性）： 村落レベルでの運営維持管理を確保する。水利用者委員会を設置して、運営と維持管理の責任をもたせ、軽微な修理ならば地元で対応するために利用者から料金を徴収する。
- 実施団体： CESDは国家登録された南スーダン国内NGO。2021年設立。自立した国家の実現に向けて恵まれない人々の向上に努めている。草の根レベルの地域インフラ開発では、イエイ、マグウィ、ワウ及びジュバの都市周辺で井戸の掘削や改修事業を実施してきた。その際に、水利用者委員会の設立や村落での運営維持管理をすすめるところに特色がある。